

授業概要

学校図書館および司書教諭に関する総論的・入門的な科目として、この分野の全般的な理解と、より詳しく学ぶ上で必要になる基礎知識の取得を目指して講義します。また、学校図書館に限らず、図書館全般に関する基本的な知識と理解を解説しながら進行します。

授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	学校教育と学校図書館
第3回	さまざまな図書館と学校図書館
第4回	学校図書館の歴史（アメリカを中心に）
第5回	日本における学校図書館の歴史
第6回	学校図書館と法制
第7回	学校図書館の活動
第8回	学校図書館の運営
第9回	学校図書館における利用教育
第10回	司書教諭と学校司書
第11回	学校図書館とメディア
第12回	学校教育と情報リテラシー、メディアリテラシー
第13回	学校図書館にかかわるスタッフ（図書委員、ボランティアなど）
第14回	学校図書館活動と地域社会
第15回	まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

司書教諭の職務につくことを前提に、次のことへの理解を目指します。
 1) 学校における学校図書館の担う役割、2) 学校図書館の成り立ちと現状、3) 司書教諭実務全般および学校司書との連携の基礎的理解、4) 学校図書館以外の館種に関する基礎的理解。

履修上の注意

講義中の発言を歓迎します。質問や話題提供など、積極的な参加を期待します。
 司書教諭および学校図書館の概要を知るための科目です。司書教諭課程中なるべく早い履修が望まれます。
 履修者数が少ない場合、進行および評価方法を代えることがあります。
 実際の図書館を理解するために本学図書館にて授業を進行することがあります。

予習・復習

授業時に次回利用する資料を指定します。事前に指定した情報資源を読んでおいてください。
 毎回の講義でだされるアサインメントは、次回までに取り組んでおいてください。
 講義中に出た新しい用語について、自ら説明ができるまで確認をしてください。

評価方法

期末テスト(60%・必須)と課題レポート(20%・必須)を主とします。それに授業への貢献(議論への積極的参加など)および自由提出のレポート(20%)を加えて評価します。
 履修者数が少ない場合、期末試験をレポートに代えることがあります。

テキスト

授業で扱う情報資源は、印刷資料として配布、またウェブ上の情報資源として指示します。
 (参考) 全国学校図書館協議会監修. 司書教諭・学校司書のための学校図書館必携. 悠光堂, 2015, 253p., ISBN 978-4-906873-50-0.
 (参考) 日本図書館情報学会用語辞典編集委員会編. 図書館情報学用語辞典. 第4版, 丸善出版, 2013, 284p., ISBN 978-4-621-08774-9.